

問 大口使用者に対して水道料金の値下げは可能か 答 上下水道審議会等で十分な協議検討をしていく

横田 勝利 議員



問 11月25日に開かれた企業誘致特別委員会の内容は。

町長 川妻工業団地内のイトシア(株)の撤退を受けその後、豆乳飲料等の製造・販売を業とするキッコーマンソイフーズ(株)が、来年秋以降の操業を目的とする進出計画が説明されました。

建設環境課長 キッコーマンソイフーズ(株)の事業内容については、飲料事業として各種豆乳の製造販売を行うほか、魚肉練り製品や惣菜を中心とした製品の製造販売を行っています。また、従業員については、当初は30名最終的には200名程度の採用を計画されており、地元雇用を優先していくことです。

問 キッコーマンソイフーズ(株)の1日当たりの水の使用量と月額使用料金はどのくらい見込まれるのか。

上下水道長 生産当初では、日量500m³から600m³を予定しているとのことですので、月額の

使用料金は約300万円から360万円相当が見込まれます。また、工場については、今後拡張を予定しているとのことですので、最終的には1日当たりの最大使用水量は3000m³を計画しているとのこと。

問 水道水の大口使用者に対し、利用料金の値下げは出来ないのか。

町長 町の水道事業は、浄水場の建設や施設設備に対し、多額の借入を行っており、水道使用料金の増収を図らなければなりません。一般家庭への給水量は横ばい状況であり、毎年各企業を訪問させていただき水道水への転換利用をお願いしているところ。大口使用者に対する料金の値下げについては、浄水等に係る営業経費や営業収益状況、さらには多額の借入金に対する償還金や南摩ダム建設負担金等も含め、今後上下水道審議会等関係皆様方と十分な協議検討を行い、浄水場の効率運用

と水道会計の健全化に努めてまいりたいと考えます。

上下水道課長 現在の水道事業は、独立採算という形で運営されており、すが、一般会計からも多額の繰入金を受け入れて運営されています。今後、大口使用者に対して値下げをした場合、水道会計

問 県道幸手・境線バイパスの進捗状況と完了予定は
答 茨城県側で76%の用地買収が完了しており、今後も鋭意進めていく

に与える影響が相当厳しくなると思われるので、十分な協議検討が必要になると思われます。

問 川妻浄水場をこれまで以上に活用するための施策は。

上下水道課長 今後の施策としては、小手指配水場と川妻浄水場との一元

化の検討を進め、運転経費の削減に努めるほか、圏央道インターチェンジ周辺地区への企業誘致を進める中で、可能な限り水需要の見込める業種を求めて行くなど川妻浄水場の効率的な運営を図ってまいりたいと考えます。

問 現在の進捗状況は。
町長 未整備区間の進捗状況は、用地買収ベースで、茨城県側では76%です。両県をまたぐ事業です。関係機関との調整を図りながら、埼玉・茨城両県知事に強く事業促進の要望をしてまいります。

問 今後の延伸計画は。
建設環境課長 茨城県側

においては、中川から直近町道までの用地買収が完了しているほか、両県における橋梁の詳細設計も完了しています。町としては、まず五霞町側の町道から中川新橋を経由し、幸手市側の県道下吉羽・幸手線までの区間が先行して早期に事業が完了し、供用開始されるよう両県に対し、要望してまいります。



原宿台けやき通りから中川方面を臨む